

大豆サポニン

(既存添加物)

名 称：大豆サポニン (soyasaponin)

学 名：-

サポニンとは、ステロイド、ステロイドアルカロイド (窒素原子を含むステロイド)、あるいはトリテルペンの配糖体で、水に溶けて石鹸様の発泡作用を示す物質の総称である。ダイズ、サイカチ、アズキ、オリーブ、セネガ、キキョウ、ニンジン等の植物に多く含まれる。大豆サポニンは、大豆の胚軸に多く含まれており、大豆の渋みや苦味の主成分となる。また、大豆サポニンは大豆を原料としているため、高濃度のイソフラボンが含まれている (アグリコン換算量：61.5~121.4mg/g)。

大豆サポニンは強い抗酸化作用があり、体内で脂質の過酸化を抑制し代謝させる働きがある。また、水と油の両方に溶ける性質があり、血管に付着した脂質を除去する働きや血中コレステロールを低下させる効果もある。

① 由 来

大豆の種子を粉砕し、水又はエタノールで抽出し、精製して得られた物である。

② 食薬区分／法規・制度

「既存添加物」：乳化剤である^①。

③ 特性及び作用

・ 強力な抗酸化作用

体内脂質の代謝 (分解) を良くすることで肥満防止に有効、優れたダイエット効果が期待される。長期に渡り継続摂取すると、腸管表面組織が改質され、肥満体質が改善される。

過酸化脂質の産生を抑制し、肝臓の負担を軽減し、傷ついた肝臓細胞を修復する働きがあるので、肝機能障害、脂肪肝の改善にも効果がある。

既にできてしまった過酸化脂質を分解するので、免疫力を高め、美容と健康に役立つ。

・ 水と油と両方に溶ける性質

血管に付着した脂質を溶解し除去する。血管に存在するコレステロールや脂肪分等をキレイに洗い流す。この働きにより血管の動脈硬化を抑えることで、高血圧症や高脂血症 (脂質異常症)、脳血管障害等を予防し改善する効果が期待できる。

^① 厚生労働省：「既存添加物名簿収載品目リスト」 (最終改正：平成 23 年 5 月 6 日)



株式会社 FAP ジャパン

住 所：〒210-0012

神奈川県川崎市川崎区宮前町 9 番 1 - 3 0 3 加藤ビル

TEL : 044-201-1804 FAX : 044-200-9119

Homepage : <http://www.fap-jp.com/>

④ 安全性・有効性に関する情報

<http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail567.html>

◆ 「F A P」 の大豆サポニン ◆

品 名 : 大豆サポニン
名 称 : 大豆サポニン
原 料 由 来 : 大豆胚軸
原 産 国 : 中国

【特 徴】

- ・ 大豆サポニンの含有量：80%以上



株式会社 F A P ジャパン

住 所 : 〒210-0012

神奈川県川崎市川崎区宮前町9番1-303 加藤ビル

TEL : 044-201-1804 FAX : 044-200-9119

Homepage : <http://www.fap-jp.com/>